



地球を守る
リサイクルの使者
マッタマン

当たり前になっていませんか？ 「ごみ」がたくさん出てしまうこと

私たちが生活していく上で、ごみが発生するのは避けられないことです。しかし、ごみが出ることが当たり前になりすぎてはいないでしょうか？ごみの発生は避けられなくても、ごみの発生を抑えることはできます。

そんな「ごみ」についての勉強をしている豊明太郎君が、マッタマンに豊明市における「ごみ」の現状について聞いています・・・。

太郎君：「ごみ」について勉強したいけど、漠然としすぎていて、何から学んでいけばいいかわからないよ！マッタマン！

マッタマン：太郎君、ごみについて勉強をするのなら、豊明市でどれだけのごみが出ているのかを知ることが必要だよ！

豊明市では、1日に**1人当たり、658g**のごみが発生しているんだ！太郎君にも分かりやすい例で言うと、少年漫画の雑誌が1冊700gだから、毎日みんなが漫画雑誌を1冊捨てていることになるんだよ！

太郎君：えー！？そんなにごみが出ているの！？豊明市以外も同じなの？

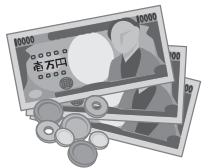
マッタマン：平成26年度一般廃棄物処理事業実態調査(愛知県)によると、愛知県で1日に1人が捨てるごみの平均は634gだから、豊明市は平均より少し多いくらいだね。でも、愛知県内で**最も1人当たりのごみの量が少ない自治体は、1日481gしかごみが出ていないんだよ。**

太郎君：なるほど…じゃあ、頑張れば豊明市のごみももっと減らせるんだ！

でも、ごみは燃やしたり埋めたりするって聞いたことがあるよ！どうせ燃やしたり埋めたりするのなら、減らす意味ってあるのかな？

マッタマン：太郎君、ごみを集めたり運んだりするのもお金がかかるし、東部知多衛生組合

(東部知多クリーンセンター) っとところで豊明市のごみを燃やしたり埋めたりするんだけど、そこに支払っている負担金もあって、ごみを処理するのにもお金がかかっているんだ！平成27年度に豊明市のごみを処理するためにかかったお金は、東部知多衛生組合の実績報告書によると、なんと**約3億3,900万円**なんだよ！日本人の平均生涯賃金が約2億円って言われているから、太郎君が一生働いて稼いだお金でも、豊明市の1年分のごみを処理できないってことになるね！



太郎君：うわ！？僕が一生働いても処理できないほどお金がかかっているなんて…。やっぱりごみは減らさなきゃいけないね！あと、ごみを埋め立てる場所にも限りがあるって聞いたことがあるし、地球のことを考えてもごみは減らさなきゃいけないね！

マッタマン：埋立地に限りがあることを知っているなんて、太郎君は偉い！！ちなみに、ごみを燃やすことは地球温暖化にもつながっているから、そういう意味でもごみを減らすことは大切なんだ！

太郎君：マッタマン！ごみを減らすために大切なことを、もっと知りたいよ！

マッタマン：太郎君、ごみを減らすために大切なことを、僕なりに次のページにまとめてみたよ！

ごみを処理するのにも
多くのお金がかかっているんだ…。



ごみを減らすために大切なこと

①必要とする人へ譲る

お子さんが成長して使わなくなったもの、部屋を片付けたときに出てきたものなど、まだまだ使えるのにごみとして捨てるのが「もったいない」と思われたことはありませんか。必要がなくなったものを再利用することを「リユース」といいます。みなさんのご家庭で使わなくなったものでも親戚や友人などで必要としている人がいるかもしれません。必要としている人に譲ることができれば、不用品もごみにはなりません。また、豊明市は「不用品登録制度」を実施して、みなさんの「リユース」をサポートしています。身近に譲る人がいない場合は、環境課にご相談ください。

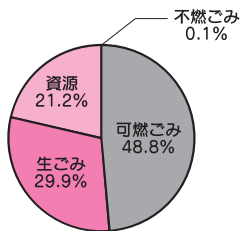
いらなくなったからって捨てるのはちょっとマッパ!!



必要としている人があそこにいるよ!

②ごみを正しく分別する

家庭から出される可燃ごみの中身を調べてみると・・・



平成27年度可燃ごみ組成調査結果
※割合は、重量比

このグラフは、平成27年度に行った可燃ごみの組成調査（分別がきちんと行われているかの調査）の結果です。このうち、20%以上を占める資源は、きちんと分別ができていれば、リサイクルができ、ごみにはなりません。

資源の分別を徹底することも、ごみの減量につながります。

*** 資源の種類 *** 新聞・雑誌・雑紙、ダンボール、牛乳パック、衣類・布類、紙製容器包装、ペットボトル、アルミ類、スチール類、スプレー缶類、ビン類、プラスチック製容器包装、乾電池



③小型家電・パソコンの無料回収を利用する

ご家庭で処分に困ったパソコンや携帯電話などはありませんか。市では市内3か所で、小型の電化製品やパソコンなどを無料回収しています。これらを分別して出していくことは、機械の中に含まれるレアメタルのリサイクルにつながります。

※テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機、衣類乾燥機は、家電リサイクル法に基づく処理方法があるため、小型家電としては回収しておりません



④「もったいない」という気持ちから、「食品ロス」を減らす

まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物のことを、「食品ロス」といいます。この「食品ロス」は、全国で年間約632万トンも発生しており、ごみを増やす大きな要因となっています。（上のグラフの「生ごみ」の中にも、食品ロスは含まれています）「もったいない」という気持ちを大切に食べられる食品を捨てない工夫をしましょう。（QRコードから、市ホームページの食品ロスに関する記事を見ることができます）



マッパマン：今年度、豊明市は、食品ロス削減の取り組みに力を入れていくし、広報とよあけでも、毎月いろいろな特集をしていく予定だよ！

太郎君：28ページに、eモニターを使った「食品ロスに関するアンケート」の結果が載っているけど、これも食品ロス削減の取り組みのひとつなんだね！

マッパマン：そのとおり！太郎君も引き続き、「食品ロス」そして「ごみ」を減らすために頑張ろうね！
市民のみなさんもお理解、ご協力の程よろしくをお願いします！

これから食品ロスについて一緒に学んでいこう!!



問合せ先 環境課ごみ減量推進係 ☎0562-92-1113